

企画作品を9月2日まで募集

愛知大会での表彰式



国内旅行需要が急速に回復する中、地域のさらなる活性化に向けて、地元を誇りに感じている人たちが、そこに楽しみに来てくれる人たちのために、地域の観光資源を見つめなおし、再発見した新たな魅力を旅行商品として企画する「着地型旅行(地旅)」の推進が求められている。

募集内容は、若者ならではの自由で斬新な発想により、東京都内における、歴史・文化、産業・工芸、食、自然、祭り・伝承行事、癒しなどの観光素材、観光スポットをテーマとした着地型旅行商品の企画案。令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月)に実施することを想定した、実現性があるもの。必ずしも若者向けとする必要はない。旅行日程は、日帰りから最長3泊4日まで。

応募資格は、東京都内に在住する、または所在する学校(高等学校、大学・短期大学・大学院、高等専修学校、専門学校など)に在籍する高校生以上の学生(個人、グループとも可)。

優秀な作品に対しては、表彰状に加えて、副賞として最優秀賞(1組)に5万円ギフト券、優秀賞(2組)に3万円ギフト券、特別賞(3組)に5万円ギフト券を贈呈。来年1月の国内観光活性化フォーラムin東京の会場で表彰式を行う。

募集に関する詳細は、全国旅行業協会のホームページまたは、本部事務局総務課企画部学生旅行プランコンテスト(03(6277)8001)まで。

全国旅行業協会

全国旅行業協会(ANTA、会長二階俊博衆議院議員)では、来年1月28日に東京で開催する「第19回 国内観光活性化フォーラムin東京」の事業の一環として、東京都内に在住する、または所在する学校に在籍する高校生以上の学生を対象に「学生がつくる東京都の着地型旅行プランコンテスト」の企画作品を募集している。締め切りは9月2日まで。募集要項と過去3年間の最優秀賞プランを紹介する。

学生がつくる東京都の着地型旅行プランコンテスト

「第19回 国内観光活性化フォーラムin東京」関連事業

学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト 第18回 国内観光活性化フォーラムin あいち関連事業

最優秀賞

花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、ロスフラワーの削減につなげよう!!

中京大学 今井ゼミ(青柳佳史乃、磯谷陽菜、清水亜紗実の各氏)

「花と触れ合うリフレッシュ旅」として、愛知県にある「観光資源」と愛知が生産量全国1位を誇る「花」を掛け合わせ、花の成長から、花の取引、花が実際に使用されているところまでの一連の流れを1泊2日で学び、愛知の名産品である花や、伝統工芸体験を楽しんでもらえるようなプランとなっている。

エリア：南知多町、常滑市、豊明市、豊橋市、田原市 旅行日程：1泊2日
 ポイント①「花づくしの1泊2日」 花の魅力を花畑といった景観を楽しむ自然型観光だけでなく、「体験」「見学」「食事」「宿泊」など多方面で、随所に「花」を感じてもらおうツアー行程となっている。

ポイント②「花の王国の認知度向上とフラワーロスの削減」 花の生産量全国1位の愛知県の強みと、「観光」を掛け合わせて、花の王国の認知度向上と花の魅力を伝えることで、「フラワーロス」の削減につなげる。ロスに着目することで、SDGsの12番「つくる責任 つかう責任」の取り組みに関連し、フードロスなど幅広い「ロス」問題に理解、意識してもらうきっかけになる。

- ツアー行程
- 1日目 ①南知多町の「観光農園花ひろば」を訪れ、四季折々の花を楽しむ。
 - ②古民家スペースi w a n oに併設されている「まわるカフェ」で昼食(店内家具すべてが再利用からなるもので構成されており、SDGsの取り組みを行っている)。
 - ③「TOKONAME STORE」で愛知県の地場産業である「常滑焼」の陶芸体験。
 - ④常滑市のカフェ「ケティパシュカン」でドライフラワーに囲まれ休憩。生花以外の花の良さを感じる。
 - ⑤12種類の花をコンセプトとした客室の「ホテルウィングインターナショナルセレクト名古屋栄」で宿泊。
 - 2日目 ①鉢花の取引が日本一を誇る市場である「愛知豊明花き地方卸売市場」を訪れて、花の取引を見学。
 - ②豊橋市の「十勝庵」でエディブルフラワーを使用した「豊橋カレーうどん」を食べる。
 - ③「のんぱいパーク」で花を含めた幅広い植物を楽しみ、生産量全国1位を誇る田原市にある観葉植物を販売する。
 - ④「あかばねロコステーション」に移動。
 - ⑤「Hana・花」を訪れ、ツアーで花に興味を持った人たちがすぐに購入できるようにする。



観光農園花ひろば

学生がつくる山形県の着地型旅行プランコンテスト 第17回 国内観光活性化フォーラムin やまがた関連事業

最優秀賞

都会のZ世代が白い森おぐにの自然とふれあう夏

山形県立小国高等学校 2年 普通科 齋藤心花氏

SDGsを取り入れた観光振興を目指し、「協働」「新たな出会い」「自然」をポイントに、地域の人とコミュニケーションを取りながら小国町の魅力、自然、食文化を都会に住む人たちと一緒に体験するプランとなっている。

エリア：小国町 想定時期：6～7月頃 旅行日程：2泊3日
 ポイント①「協働」 住民と都会の人と移住者、全ての人が新しい気づきや、気づかなかったことを共にシェアし、良い街作り、良い旅につなぐことができる。

ポイント②「新たな出会い」 知らなかった場所、街、住民、自然の良さを知り、新しいこと、物、人に会ってほしい。

ポイント③「自然」 自然の豊かさ、陸の豊かさを実感できる。

- ツアー行程
- 1日目 ①小国町の移住者同士と移住者と地域の人をつなぐ「つむぐマルシェ」に参加。移住者と地域の人と一緒に「わらびのあくぬき」を体験。移住者と地域の人と都会の人とコミュニケーションを取る。②宿泊は森の中でグランピング。地元食材と焚火を使ったBBQ。
 - 2日目 ①五味沢つり橋(朝日連峰の里山をトレッキング) ②荒川で川遊び(カヅカとり) ③夕食は山菜アツアツ天ぷら(前日あく抜きしたわらびを食べる) ④「りふれ」の温泉に入る⑤「りふれ」のホテルに宿泊
 - 3日目 ①心が癒されるオゾンいっぱい森林セラピー「温身平」を散策。五感で自然を感じる。②昼食セラピー弁当を食べる。③小玉川の飯豊温泉で温泉に入ってもらって心を癒す。



学生がつくったツアー広告

学生がつくる山梨県の着地型旅行プランコンテスト 第16回 国内観光活性化フォーラムin やまなし関連事業

最優秀賞

パステルカラーの祈りの道を歩くー地元の学生しか知らない癒しとインスタ映えスポットを巡るー

山梨県立大学 2年 国際政策学部 吉村凜、中町優希、風間千弘、竹之内大地、天野真、岩田輝、渡邊幹也の各氏

気の合う友だち同士が思い出の1ページを作れるように「超インスタ映えスポット」を巡るツアー。2019年にユネスコ会議で認定された「甲斐信ユネスコエコパーク」や、パワースポットで有名な「金櫻神社」を訪れるなど、自然美と山岳信仰の歴史を学ぶことができる企画となっている。

エリア：甲府市、山梨市、甲州市
 想定時期：10～11月頃
 旅行日程：1泊2日
 ツアー行程

- 1日目のポイント
 - ・奥昇仙峡の板敷渓谷は、地元の知る人が少ない、手つかずの絶景と紅葉が楽しめる。川砂をよく見ると水晶が混ざっているとのこと。
 - ・トレッキング後は、昇仙峡にある「カフェテロワール」で、オーナーセンスが光る地産地消の洋食とスイーツを提供する。
 - ・金櫻神社は、金峰山信仰の要衝中の要衝。お守りの中には火の玉、水の玉といわれる水晶が入っている。
 - ・岩下温泉旅館は、1300年前に神の湯として生まれた名湯。料理は、若女将こだわりの山梨の旬の料理。かわいい「温泉ねこ」でも有名だ。
- 2日目のポイント
 - ・恵林寺は、1330年に夢窓国師によって創建された名刹。その住職の指導のもと、30分程度の座禅体験をする。
 - ・その後、門前の精進料理を食べて、健康と癒しを感じてもらう。
 - ・西沢渓谷は、2019年に認定されたユネスコエコパーク内にある。「日本の滝百選」の滝が次々と続く。森林浴のリラックス効果が実証されているスポットとしても有名。この季節は、紅葉が見ごろで、絶景インスタ映えスポットとしても有名だ。



学生がつくったツアー広告